



スージーちゃん

# 波田まちづくり通信



スイカワくん



## こども見守り隊社会参加章受章

波田学校応援団を母体とする「こども見守り隊」は、主体的に社会とかかわりを持ち、積極的な社会活動を通じて、生き生きと充実した生活を送っていることが評価されるとともに、長寿社会における高齢者の社会参加活動の模範であるとして、内閣府から「社会参加活動事例・社会参加章」を受章し、記念の盾が贈呈されました。

伝達式は市波田支所で行われ、市役所平林健康福祉部長が、市長メッセージを読み上げ、書状と記念の盾を渡しました。メッセージでは、「地域の子どものために PTA 活動や学習を支援され、特に小学1年生の下校時の付き添い活動に感銘を受けました。」とあり、市川会長からは、「子どもの成長を感じることができて楽しい。多くの人に見守り活動を知っていただき、会員を増やしたい。」と話していました。

こども見守り隊は2005年に結成し、会員約60名が自宅前や道路での見守り、また電車の乗り方や車内でのマナーなどの指導を行っています。

波田学校応援団へ参加希望の方は、波田まちづくり協議会へご連絡ください。



(市川会長(左)と三沢副会長)



(記念の盾)

## 松本市立病院 健康づくりフェア開催

10月22日(土)に、2回目の健康づくりフェアが波田公民館を会場に行われました。

参加者は、「心と身体を元気にしよう」と、フレイル教室の他、骨密度や血糖値の測定を行い、生活習慣を見直すきっかけとしていました。



ステージ企画第1部では、障害を持つ若者たちが音楽活動を通じて社会的自立を目指す「楽団ケ・セラ」が、「太陽にほえろ！」や「パイレーツ・オブ・カリビアン」など熱のこもった演奏を7曲披露し、参加者から喝さいを浴びていました。  
(楽団ケ・セラの演奏)

第2部では、市立病院消化器内科の米田医師による講話「健診のすすめ」が行われ、「三大疾病であるガン、心疾患、脳血管疾患」の話があり、「初期は自覚症状がない。早期にみつけるためには健康診断を定期的に受診することが大切。」と話し、参加者からの質問に答えていました。

波田まちづくり協議会も、将来の医療やケアを話し合う「アドバンス(前もって)ケア(医療やケアについて)プランニング(計画すること)」人生会議について、ポスターにより周知しました。

今年も残り1カ月となりました。来年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

**【お知らせ】**「お寺でママベビーヨガ」、「お寺で音流(おんる)ヨガ」の日程は、裏表紙のまちづくりカレンダーをご覧ください。

※入場制限あり **要予約** << 申込み先：ゆめあかり ☎ 090-5558-5833 (古田) >>